

# カケハシ

## 目次

### 【特集】 P 2 ～ 3

参政権～あなたが主役～

### 【啓発】 P 4 ～ 6

男女共同参画週間事業レポート

### 【トピックス】 P 7

ひとひとのフォーラム2010足利のお知らせ

### 【いきいきライフに乾杯！】 P 8

民話の中から、美しい日本の言葉を残したい

## 世界を駆けめぐる



### ギネス世界記録認定員

いしかわ かおる

### 石川 佳織さん(36歳)

足利出身の石川佳織さんは、日本人で初めてのギネス世界記録認定員として、ギネス・ワールド・レコーズ・ロンドン本社に勤務しています。佳織さんは2人姉妹の妹で、足利女子高校、上智大学外国語学部英語学科を卒業後、ロンドン大学などを経て、2007年にギネス・ワールド・レコーズに入社。審査に必要なトレーニングを受け、現在活躍中です。

今春は、日本でギネス世界記録の申請が多かったため日本へ戻り、大橋町の実家から認定審査をする各地域に出向きました。

全世界が対象なためフットワークの良さが問われること、保険の関係で行くことができない国があること、また、記録そのものよりも、記録に挑戦する

姿に心動かされたことなど、興味深いお話ばかりでした。

「海外でのコミュニケーションはなかなか難しいので、順応性を持ちお互いを尊重し合い、その国のマナーを学んで行きます。多くの人に出会えるのはとても楽しいことですが、つらいことは、公正な立場でだめな時はだめと言わなければいけない時です」とおっしゃる佳織さん。

語学ができないため申請ができない人が多いので、認定員を増やし多くの申請ができるようにすることが夢だそうです。ますますのご活躍を！

〔参考 ギネス世界記録・日本公式サイト〕  
〔<http://www.guinnessworldrecords.jp/>〕



▲活発な意見が飛び交う2人でした

### 特集 討論会

# 参政権 ~あなたが主役~

全国的に若年層有権者の投票率は、低い傾向にあります。足利市も例外ではありません。そんななかで、私たちはどのように政治に関わってゆけばよいのでしょうか。今回は30代の市民に方々に、市政や参政権について討論していただきました。

## 「選挙」について

編集委員(以下、編)●投票には行きませんでしたか？

Aさん●20代はなかなか行けませんでしたが、ここ数年は行っています。

Bさん●行けるときには行っています。

編●周りの同年代の方はどうですか？

Aさん●仕事が忙しくて時間が無い、関心がないという感じで行ってない人も多いですね。

編●グラフを見ていただいてもわかりませんが20、30代の投票率がなかなか上昇しません。(グラフ①参照)

Cさん●選挙に行くことが大切なのはわかっていても、どう政治につながるのかわかりにくい気がします。



## 政治と自分

Bさん●20代くらいだと自立してないし、大学や就職で余裕がないんだと思います。それに比べ年配の方は選挙に熱心な印象がありますよね。

編●それは、政治家の方への要望が必然的に多くなっているからでしょう。

Bさん●同年代でも子育てをしている人は、生活の中で政策が自分にふりかかってくる。そこから意識が変わっていくような気がします。

Bさん●政治によって社会とつながれることに気がつかない人も多いのではないのでしょうか。

Cさん●議会の映像などをみても「遠

がたくさんいます。そんな人に出馬して欲しいという気持ちもありますね。

Cさん●若い人たちは地域の団体に所属しながらないから、政治家からアピールされる機会が少ない。団体としての活動をしたら変わるのではないのでしょうか。

Bさん●議会の中継など、積極的に放映して欲しいですね。そうすることで関心も高まると思います。

編●政治の結果は見えにくい。若者へのアピールもこれから重要になってくるかもしれませんね。

## インターネットと政治

編●政治家のブログやホームページによって、若者の政治への関心が向上すると思いますか？

Cさん●すでにツイッターやブログをフル活用されている政治家の方もいらっしゃいますよね。携帯やパソコンで投票できるようになればいいと思います。

Bさん●確かに便利だと思いますが、少しリスクが心配です。でも「市長へのメール」など、若い人にとって身近に感じられていいと思います。

Aさん●自分は休日にインターネット



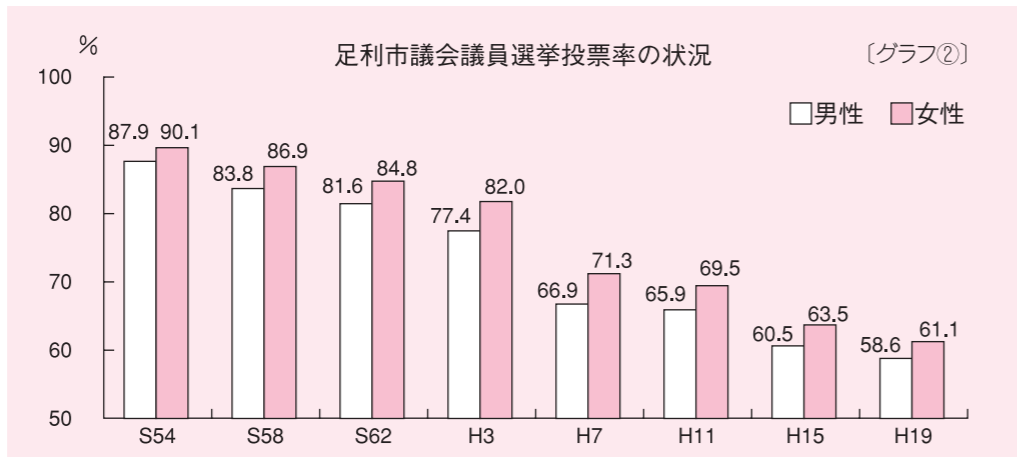
ありがとうございます。

(Y・H)



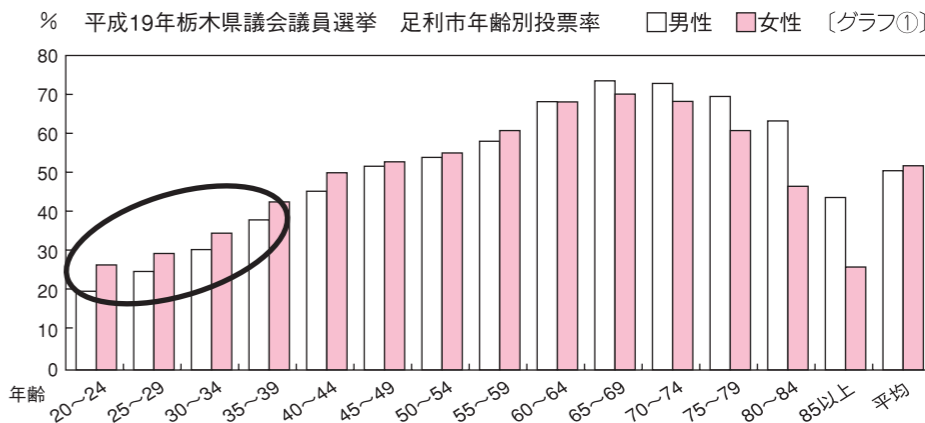
### コメント

年々下がる投票率…。昔から男性より女性の投票率が高い足利市。



### コメント

20代・30代は低い投票率。投票率は40代からグッと上がります。



い世界」という感じがして、政治家を身近に感じることがない気がしませんか？

# 平成22年度男女共同参画週間事業

## 当日の様子

### フォトレポート

6月26日(土)市民プラザ小ホールにおいて、男女共同参画週間事業を、市と足利市女性団体連絡協議会の共催で開催しました。

男女共同参画に関する標語・写真の表彰式のあと、市民劇団オンリーワンによる、朗読舞台「ひまわり～DV(ドメスティック・バイオレンス)をのりこえて～」の公演を行いました。

参加された多くの女性の皆さんが、言葉の一つ一つに、大きくうなづいていました。

## 第1部 標語・写真の表彰式

受賞者の皆さん、おめでとうございます。副市長から、賞状と記念品が贈られました。



## 第2部 朗読舞台「ひまわり」

～DV(ドメスティック・バイオレンス)をのりこえて～  
制作・出演 市民劇団オンリーワン

あなたはひとりではない  
あなたはあなたのままでいい



声は力！無名の、尊厳ある女性たちの声をお届けします…これは実話に基づく物語です。

### 朗読舞台「ひまわり」

～DV(ドメスティック・バイオレンス)をのりこえて～



あなたはひとりではない

あなたはあなたのままでいい

photo:伊藤雅章 coordinate:山本雅美 写真提供:主催するTシャツの会

声は力！  
無名の尊厳ある女性たちの声をお届けしようと多くの方々のご協力を得て2004年、横浜市男女共同参画推進協議会が企画・制作した実話による朗読作品。2004年の10月初演より全国各地で公演を行い現在に至っています。

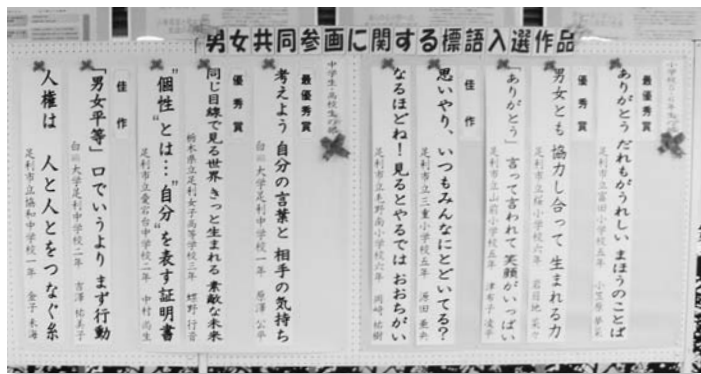
制作・出演 市民劇団「オンリーワン」  
企画 (財)横浜市男女共同参画推進協議会 2004年度作品  
制作協力 中島幸子・由理子・麻鳥澄江  
グループ「レジーアンス」・グループ「えむフランス」・匿名の尊厳ある女性達

これは、横浜市男女共同参画推進協議会が、相談室を利用していった女性たちからの「私たちの思いを社会に発信したい」という声を受け、無名の女性たちの声をまとめて、2004年に企画・制作した作品です。

04年秋の初演以来、これまで全国各地で50回を越える公演をしています。

「子育てや介護、しごと、いろんな事情のメンバーがいる中で、うれしいこともたいへんなこともありました」というオンリーワンのみなさん。前日から来足し、夜遅くまで練習されていました。

これからも、一人でも多くの人に、声を伝えて続けて欲しいと願っています。



標語・入賞作品展示風景

## 標語入選作品

平成22年度男女共同参画週間事業として、「男女共同参画」をテーマに、小学校5年生～高校生を対象に標語を募集しました。

1,706点の応募があり、審査の結果、次の標語が入選しました。

たくさんのご応募、ありがとうございました！

### ◆小学校5・6年生の部

【最優秀賞】

ありがとう だれもがうれしい まほうのことは 小笠原 夢菜 さん(富田小5年)

【優秀賞】

男女とも 協力し合って 生まれる力 岩目地 菜々 さん(桜小6年)  
「ありがとう」言って言われて 笑顔がいっぱい 津布子 凌平 さん(山前小5年)

【佳作】

思いやり、いつもみんなにとどいてる？ 源田 亜央 さん(三重小5年)  
なるほどね！ 見るとやるでは おおちがい 岡崎 祐樹 さん(毛野南小6年)

### ◆中学生・高校生の部

【最優秀賞】

考えよう 自分の言葉と 相手の気持ち 原澤 公平 さん(白鷗大学足利中1年)

【優秀賞】

同じ目線で見る世界 きっと生まれる 素敵未来 蝶野 行音 さん(足利女子高校3年)  
“個性”とは… “自分”を表す 証明書 中村 尚生 さん(愛宕台中2年)

【佳作】

「男女平等」口でいうより まず行動 吉澤 祐美子 さん(白鷗大学足利中2年)  
人権は 人と人をつなぐ糸 金子 未海 さん(協和中1年)

シリーズ

## マイメッセージ

### テーマ「がんばるん」

今回は、2つのメッセージが届きました。

お母さんは世話になってまで、何故生きているのか聞きましたね。必要とされていると言うと、具体的に教えてと言う。兄が年金を貰えるまでと言うと、その日を待ち必要を満たしたと言いましたが、満額まで五年かというと、遠くを見つめ「あと五年かよーし頑張るぞー」と気合を入れて、子の為に生きようと思いましたね。一年で力尽きましたがお母さんの頑張った姿が、今私の生きる力です。  
(茂木志津子さん)

明かりを灯しミシンを止めて、外に出るともう暗い。  
思い切り両手をのばして仰ぐ空はるか天の川彦星光る  
梅雨が過ぎ、夏が来ると夜空も移り明るい星がきらきらと光ります。少し痛いのですが、歩ける私はまだまだ幸せ、がまんがまんです。これからもどんどん歩き、野山を走り(ウフフ)、秋の七草をまた探しに行きたいです。  
(首藤恭子さん)

●次回は「大好き」をテーマに手紙を募集します。

※2000文字位にまとめてください。なお、未発表作品に限りません。

※採用された作品については、氏名(匿名可)、年齢を、本紙「かけはし」(全戸配付)及び市のホームページにて公開いたします。

※掲載された方には粗品を差し上げます。

# 写真入選作品

「家事・育児を楽しむ男性」をテーマに、写真を募集しました。審査の結果、入選された作品をご紹介します！

🎀 最優秀賞

ゴミ捨て、手伝えるもんね(笑)  
羽川大輔さん



最近率先してお手伝いしてくれる正太郎君(息子)。今日はゴミ捨てを手伝ってくれました。ときには隣の回収場所まで遠征することもある。

🎀 優秀賞

娘とガッツだぜ!!  
関口佳奈子さん

休日に一歳の娘と遊ぶパパ。娘もパパと一緒にご機嫌です。仲よし親子でガッツポーズ!!



🎀 佳作

新米父子  
亀山ジュリアさん

息子のお風呂当番の主人も、この任務開始から早一年。今ではすっかり手慣れてきています。



🎀 優秀賞

いつでも一緒♥  
天間貴志さん

子育てにすごく協力的な旦那様で、掃除機をかけている間も笑顔でおんが。



🎀 佳作

榛名湖のほとりの食堂で昼寝  
鈴木基文さん

昼ご飯を食べた後、疲れがどっと出て食堂の畳で昼寝をしてしまいました。



🎀 佳作

私にも弾かせて♪  
伊藤亮介さん

娘はギターが大好きで、弾いてあげると手をたたいて喜んでくれます。



# ひとひと 女と男のフォーラム2010足利

〈プログラム〉

12:30~12:40 セレモニー  
(小ホール)

12:40~14:00 講演会  
(小ホール)

## 9/4(土)

入場  
無料

手話通訳あり  
託児は要予約

時間 12:30~16:00 会場 足利市民プラザ



### 「しあわせの見つけ方」

内藤いづみさん

(在宅ホスピス医)

在宅医療・在宅ホスピスケアの分野で、日本を代表するスタイルを確立した内藤いづみさん。「生と死の現場には、希望があり、笑顔があります」と語る彼女のメッセージの中には、私たちが、しあわせな人生を過ごすために大切なことがあふれています。

●プロデューサー 鈴木光尚(実行委員)

## 14:00~16:00 分科会

### 第1分科会 虐待、暴力のない社会へ

#### 安全、安心な町に

DVや虐待によって命を落とす痛ましい事件が報道されている昨今。家庭の中で起きているDV、児童虐待、老人問題等をパネラーからお聞きし、命と人権を守るために、私たちができることを共に考えていきましょう。

- コーディネーター 大島 裕子(実行委員)
- パネリスト 仲村 久代  
(NPO法人サバイバルネット・ライフ代表)
- 岡崎 浩子(足利市地域包括支援センター職員)
- 吉間 巧子(実行委員)

### 第2分科会 オレ流子育て

#### イクメンファッションショー& Neoパパ・トーク

事前に、親子でアウトドアクッキングや川遊び、パパの読み聞かせ、ベビーマッサージなど、異年齢の子を持つ親同士の交流を楽しみます。

当日は、自慢の育児グッズを身につけたパパのファッションショーの後、参加者同士、新しい父親像・育児への関わり・パートナーシップについて本音や迷い、家族への愛...何でも語っちゃいましょう。

- ファシリテーター 足立 純(足利市役所男性初の育児取得者)
- 吉田 素之(ルーキーパパ・実行委員)
- 大木 淳(プレイリーダー)
- 新井 隆(プレイリーダー)

### 第3分科会 多文化共生

#### 「ひと」と「ひと」とのかかわり

社会のグローバル化が進展し、人々の価値観が複雑化する現代に求められる「多様性」。この「多様性」をキーワードに、日本人と外国人の「多文化共生」と、女と男の「ワーク・ライフ・バランス」について皆さんと共に考えます。

- コーディネーター 橋本 敏博(実行委員)
- パネリスト 堀本アンキャロル  
(足利市国際交流協会相談員)
- リー・ハーパー  
(アメリカン・プリスクール講師)
- 金子 裕美(青年海外協力隊OG)

### 第4分科会 豊かな老後の暮らし

#### 「元気」にありがとう

日々の生活、趣味を生かしたライフワーク等続けることで元気な老後を送っている方達のお話を伺います。その後、筑波医院院長の吉益均さんから、豊かな老後の暮らしについてのお話をさせていただきます。

- コーディネーター 高橋 良男(実行委員)
- 講師 吉益 均(筑波医院院長)
- パネリスト 岡本まさ子(論々書院主宰)
- 保々 政司(かけはし編集委員)
- 小倉喜兵衛(足利絵馬の会会長)

いきいき  
ライフ  
に乾杯!

民話の中から

美しい日本の言葉を残したい

日本民話の会会員

山本 俱子<sup>みなこ</sup>さん (74歳)



民話の語り手となって

京都で生まれ、社会人になって東京で過ごした山本俱子さんは、自分の時間をもてるようになったとき、好きな本と子供たちに会える地域文庫を開きました。そこで、無気力で言葉を知らないコミュニケーションのとれない子供たちに会い、愕然としたそうです。悩んだ末、日本人の心のふるさとであり、美しい言葉を持つ民話を語ってみようと思い付き、話を覚え語るようになったそうです。

何年も続けていくうちに、子供たちはお話を聞くのが上手になり、理解もでき、会話の言葉も豊かになっていきました。また、語りの基になる民話を探すことも大変なようです。録音機を持って、村々を訪ね田畑で仕事のお年寄りに昔話を語ってもらったこともあったそうです。

語りをする人がいない

15年前に足利に来て、仲間を求めて図書館を訪ねましたが、「語り」という分野がないことを知ります。しかし、子供たちのためにも必要分野という強い思いから、公民館や図書館の理解を得て、語りの会開催を実現します。

その後、「語りの講座」も開かれるようになり、今では「都市の語り手」として、この町に多くの方が立ち、子供たちともコミュニケーションをとりながら、とても良い関係

を保っているそうです。

足利は伝説の宝庫

足利の人々との様々な出会いの中で、「足利の伝説を語り伝えたい」と思う気持ちが強くなったという山本さん。人々が民話を自分の言葉で語るようになったとき、民話の基の地域がどこなのか、長い年月の間には分からなくなってくるので、足利に数多くある伝説を基に、語りのできる足利の民話として書きまとめておきたいと思っています。

足利の民話の本作りを情熱的に話されるそのお姿はとても幸せそうで、私も嬉しくなりました。

(Mi・O)



お知らせ

ひとひと 女と男のフォーラム2010足利プライベート

第2分科会「オレ流子育て」が事前交流を行います。  
定員は、先着15組(親子)ですので、お申し込みはお早目に!  
【日時】 8月29日(土) 午前9時~  
【場所】 名草ふるさと交流館  
【内容】 親子でクッキングや川遊び、読み聞かせなどを予定しています。  
※詳しくは、男女共同参画室 ☎73-8080へお問い合わせください。

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

世界に羽ばたき活躍している若き女性。  
男性、女性を意識しないで、自分の持っている特技を生かして働いている姿に感動した。  
取材から数日後、石川遼さんにギネス認定書が渡された記事を見て、石川佳織さんの顔が浮かんだ。  
参政権をテーマにした討論会、入選した標語・写真など、男女共同参画社会を自然体で感じられている様子が伺われる。

(M. K)